

ラグビーワールドカップ 2019 における東京スタジアムの会場運営計画案について

- ラグビーワールドカップ 2019 組織委員会と都が協議し、東京スタジアムの施設及び諸室の配置等について会場運営計画案としてとりまとめ、ラグビーワールドカップリミテッド（RWCL）に提出する。
- 今後、年1回程度更新予定

計画案策定上のポイント

項目	主な課題	対応の方向
メディア席 A	<ul style="list-style-type: none"> ・ 上層スタンドに必要な数のメディア席を移設することが必要 	<ul style="list-style-type: none"> ・ メディア席はメインスタンド上層席に仮設置
芝フィールド B	<ul style="list-style-type: none"> ・ 国際的にはハイブリッド芝が耐久性等の面で好ましいとされており、日本の天然芝との強度の比較等、さらなる調査が必要 	<ul style="list-style-type: none"> ・ 平成29年度、組織委員会と連携し、ハイブリッド芝と天然芝との比較実験をスタジアム敷地内の投てき練習場で実施
交通輸送 C	<ul style="list-style-type: none"> ・ 大型バスまたは自動車の利用者向けに、会場のすぐ横に乗降場が必要。スポンサー等向け駐車場も必要 	<ul style="list-style-type: none"> ・ 北側広場に観客用シャトルバス乗降場を設置 ・ 関係者駐車場の配置について引き続き検討
ホスピタリティ・スペース D	<ul style="list-style-type: none"> ・ 特に重要な試合を行う東京スタジアムではホスピタリティ施設が不可欠 	<ul style="list-style-type: none"> ・ メインスタンド側レセプションルームに加え、バックスタンド側諸室、武蔵野の森総合スポーツ施設（仮称）メインアリーナ棟の利用

